

片貝川の特徴

片貝川は、魚津市と黒部市の境界にそびえる毛勝山(2414m)を水源にもつ、全長27kmの急流河川です。急峻な山間部から扇状地へ出るとまもなく、海に流れこむという、下流のない川といえます。河口左岸には、本流から分かれた流れがあり、「流れる水のはたらき」の学習に適していますが、数kmさかのぼった東山地内(地図)にくると、早くも大きな礫がごろごろしています。そのため、野外観察では、河口付近での観察をメインにして、そのあと、東山地内の右岸側や片貝小学校横、東蔵地内等で、礫の形や大きさのちがい、地形のちがいなどを観察するとよいでしょう。なお、片貝川は、上流の天気によって水量が変化するので、天候の不安定な時は、増水に細心の注意を払いましょう。

東山橋から上流側の片貝川の様子



東山付近の片貝川は礫が大きい



河口の様子



河口付近の礫は小さい

